



## Who is Seymour Chwast?

Seymour Chwast | シーモア・クワスト

シーモア・クワストは、アメリカの1960年代初期のモダニズムが志向した機能性優先のグラフィックと逆行して、ポストモダンの先駆者として世界のイラストレーション、グラフィックデザイン界に革命的な影響を及ぼしました。早くから日本でも横尾忠則、湯村輝彦、和田誠らに大きな影響を与えました。

彼の多様性あるデザインは様々な分野に及び200枚以上ものポスターと、50冊以上の絵本をデザインしています。パリのルーブル美術館では2ヶ月間、グラフィックデザイナーとして初めて展示会を開催しました。MOMA(ニューヨーク近代美術館)など数々の美術館に永久所蔵されています。

彼のデザインは「月並みなもの(クリシェ)」を誰も見たことのないグラフィックに変え、常に「驚き」と「発見」を与えてくれます。思わずブツと微笑んでしまうシーモアのウィットとユーモアは、利便性や合理性を常に求められる日本のライフスタイルに、もっと「自由」で「楽しく」、そして「ユルい」生活の大切さを何気なく気づかせてくれます。

御歳90歳を迎え、今も現役で輝き続けているシーモア・クワストの不朽の遺産がTシャツとなって今甦ります。



## What is Push Pin Studios?

Push Pin Studios | プッシュピン・スタジオ

プッシュピン・スタジオは、20世紀において最も影響力のあった伝説のデザイン集団の一つです。

音楽の流れを変えたのがビートルズなら、デザインやイラストレーションの流れを変えたのはプッシュピン・スタジオといっても過言ではありません。

1950年代、シーモア・クワスト、ミルトン・グレイザー、レーノルド・ラフィンズ、エドワード・ソレルなどクーパーユニオン・アートスクールの学生等で設立したデザイン会社プッシュピン・スタジオは、瞬間に世界にその名を轟かせ、世界中に「プッシュピン現象」を巻き起こしました。

ルネサンス絵画やビクトリア朝の文字デザイン、モダンアート、コミックスなどを積極的に引用し、厳格なインターナショナル・スタイルのタイポグラフィーとは対照的なデザインを提示しました。

イラストレーションを重視し、カラフルで機知とユーモアに富んだグラフィック・デザインの枠を越えたビジュアルアートは「プッシュピン・スタイル」と呼ばれ、60年代の「ポップアートの原点」と称され、横尾忠則、アンディーウォーホル、ポーターマックス、ヘインツ・イーデルマンなど世界中のデザイナーに大きな影響を与えました。

ニューヨーク・デザインの黄金時代=1960年代とその前後、世界的な広がりで見事な変革の嵐が吹き荒れ、近代という概念や既成の文化などが激しく問われた時代に活躍したプッシュピン・スタジオ。あれから約半世紀、時代を超えて、あの伝説の「プッシュピンスタイル」がTシャツとなって今甦ります。

